

# 生涯 学習

長野県生涯学習推進センター

## 令和8年度 開催講座案内

(研修講座計画表)

NAGANO

学びも人も、多様なほど地域は豊かになる

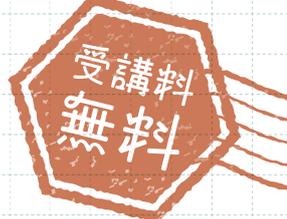
### Contents -目次-

令和8年度の研修講座のご案内	P2
生涯スポーツのご案内	P4
センターの活動内容の紹介	P5
社会教育士・公民館について	P6
センター開催講座ライブラリーのご案内	P8

NO.74  
2026



# 令和8年度 研修講座のご案内



地域社会が抱えるさまざまな課題解決に向け、一步を踏み出す人材や住民自身が  
主役となる実践活動をリードできる人材を養成するために、様々な講座を開催し  
ております。

お申込み  
お待ちしております



各講座の詳しい内容は概ね1か月前に  
ホームページの講座案内をご覧ください。

**ハイブリッド** 会場とオンラインでの参加を選べる講座

**会場・後日配信** 会場参加・後日アーカイブ視聴を選べる講座

**手話通訳** 手話通訳がある講座

**学びの達人**の認定対象の講座

**託児** 託児の事前申し込みが可能な講座

## 地域づくり推進研修

時間や会場について

「※」記載のない講座は全て  
会場→長野県生涯学習推進センター、開始時間→9:45～午後までの終日開催です。

6月4日(木)

会場・後日配信

手話通訳

託児



### 持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む? ～まちづくりや探究学習が自分事になる講演会の作り方～

上田市のまちづくり実践活動を通じて、単なるSDGsの  
情報提供に留まらず地域の行動変容を促す企画・運営の  
要点と実践力の習得を目指します。

講師:NPO法人 上田市民エネルギー 理事長 藤川 まゆみ 氏



8月28日(金)

ハイブリッド

手話通訳

託児



### 地域コミュニティをどうつくっていくか

～まちづくり・都市計画と社会教育・公民館を重ねて考えるために～

「地域社会について考えるシリーズ」3年目と  
なる今年は都市計画・まちづくりの視点を加え、  
ハード整備を含めて暮らしと自治を捉え直し、  
ソフトとハード融合の地域づくりを考えます。

講師:東京理科大学経営学部 講師 似内 遼一 氏  
対談者:日本女子大学人間社会学部 准教授 荻野 亮吾 氏



7月23日(木)

ハイブリッド

手話通訳

託児



### 地域学校協働活動を核とした地域づくり ～信州の強みである公民館と学校の連携を生かす!～(仮)

公民館が地域と学校をつないでいる長野県の強みを生  
かすための連携のヒントを講義や事例紹介、立場を超え  
た対話を通して学びます。

講師:筑波大学人間系教育学域 准教授 丹間 康仁 氏



9月16日(水)

ハイブリッド

手話通訳

託児



### 地域福祉と社会教育・公民館

～信州での具体的な連携事例をもとに考える～

「地域共生社会」を目指し、福祉現場の課題を整理して公  
民館と社会福祉協議会の連携事例から学び、持続可能な  
地域づくりを共に考えます。

講師・コーディネーター:松本大学総合経営学部 教授 尻無浜 博幸 氏  
事例発表:長野県内の公民館と社会福祉協議会関係者



8月4日(火)

手話通訳

託児



### 障がいの有無に関わらず共に学び、楽しむ日常を ～社会的障壁体験を通して「わかる」から「かわる」～

社会的障壁の体験を通して障がい者の思いや支援の大  
切さを理解し、必要な支援のもとで共に関わり合う楽し  
さを学びます。

講師:長野メディアエーション研究所 代表 依田 哲郎 氏



9月28日(月)

会場・後日配信

手話通訳

託児

※13:00から半日開催



### 自閉スペクトラム症のある方の、ライフステージにわたる支援を考える ～さまざまな自立の形をイメージして～

自閉症スペクトラムに焦点を当て、発達障害のある方の成人  
期までのライフステージで望ましい育て方や支援の在り方  
を学び、一人一人の個性を大切にすることについて考えます。

講師:信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室  
特任助教 新美 妙美 氏



8月7日(金)

会場・後日配信

手話通訳

託児



### 災害から命を守るために ～地域の支え合いと福祉の力で災害に立ち向かう!～(仮)

能登半島での災害支援の実例を通じて、的確な避難  
の大切さや、人のつながりが防災・減災や復興を支え  
る力になっていることなどを共に考える講座です。

講師:日本防災士会長野県支部 支部長 大久保 隆志 氏



10月16日(金)

※いづなコネクトWEST・EASTにて現地集合、解散



### まちづくり講座 飯綱町の未来をつなぐ場所～廃校活用と地域交流～

廃校を再生した「いづなコネクト」の取組を通して、人のつながり  
や新たな活動が生まれる様子を現地で学び、地域の未来を参加者同  
士で話し合います。

講師:飯綱町役場 企画課 地域振興係 係長 原田 大氏

## 目指せ! 学びの達人

長野県生涯学習推進センターでは、地域課題の解決に向け、実践活動に取組む指導者や推進者の養成講座を受講された方を「長野県  
生涯学習推進員(学びの達人)」として認定しています。達人となって長野県の生涯学習や地域づくりと一緒に盛り上げていきましょう。  
認定条件: 2年(聴覚障害者の方は3年)の間に指定講座を5講座以上受講されることが条件になります。達人になられた方には、  
認定書・マナビィバッジを差し上げます。※初回認定時のみ



## 公民館を現地で学ぶ講座

7月29日(水)

※東御市立田中小学校にて現地集合、解散  
※13:00から開催

### 公民館と学校が連携した子ども向け公民館講座の可能性

東御市中央公民館での子ども・親子講座の実践から学びます。学校と公民館の連携や子ども・親の目線を生かした企画の工夫を実際に講座を体験しながら考えます。



講師:東御市中央公民館長 原澤 利明氏

12月7日(月)

※松川村公民館にて現地集合、解散

### 多世代がつながり利用する公民館 ～つながる学びと憩いの場～

松川村公民館での世代を超えた学び、交流の取組から学びます。そして講座や子ども食堂、高齢者カフェなど「学び」「食」「つながり」をキーワードにした安心できる居場所づくりについて考えます。



講師:松川村公民館長 山田 渡氏

6月23日(火)

ハイブリッド 手話通訳 託児



### 自治の土壌を耕す社会教育の担い手論 ～公民館・地域づくりのコミュニティナビゲーター機能とは～

行政に社会教育を生かす新たな動きを踏まえ、中教審の議論や現場の声から、地域づくりを支え自治を育む社会教育の担い手とその役割について深く考えます。



講師・コーディネーター:  
大正大学地域創生学部 教授・東京大学名誉教授 牧野 篤氏  
事例発表者:長野県内の公民館、地域づくり関係者

10月26日(月)

ハイブリッド 手話通訳 託児



### 公民館的な手法で進めるまちづくり・地域づくり2 ～学校との連携と地域人教育～

飯田市が大学・高校と連携して進めてきた「地域人教育」の取組から、その成果、地域に根ざした教育の意義、公民館等の役割を学びます。



講師・コーディネーター:松本大学総合経営学部 教授 白戸 洋氏  
事例発表者:飯田市公民館関係者、飯田OIDE長姫高等学校関係者

11月5日(木)

ハイブリッド 手話通訳 託児



### AI時代の人や地域のあり方 ～みんなで考えよう長野県の可能性～

多様な事例からAIとの向き合い方を学び、長野県の地域資源やコミュニティを捉え直し、AI時代に求められる人と地域の新たなつながりを考えます。



講師:長野大学社会福祉学部 教授 早坂 淳氏

11月19日(木)

※塩尻市立丘中学校にて現地集合、解散  
※13:15から開催

### 子どもと大人の対話による地域学校協働活動の推進

中学校現場での「いきはたトーク」を参観し、ナナメの関係による対話の成果や共創共学プラットフォームとの連携を学び、各々の地域での協働活動の充実につなげます。



講師:NPO法人MEGURU 代表理事 横山 暁一氏  
塩尻市立丘中学校 前年度「いきはたトーク」担当教諭

12月3日(木)

ハイブリッド 手話通訳 託児



### 若者と社会教育 ～信州の事例から見える課題と展望～

社会教育の視点から若者の地域参画の重要性を確認し、県内の実践や課題を共有しながら、地域と若者をつなぐ新たな可能性を共に考えます。



講師・ファシリテーター:文教大学人間科学部 准教授 青山 鉄兵氏  
事例発表・パネリスト:松本市子ども若者部若者参画課 他

## 施設開放研修

10月10日(土)

手話通訳 ※16:20から開催

### 天体観測と星空こども食堂 ～みんなで楽しく星を学ぼう～

大型望遠鏡での天体観測や星空解説、紙芝居などを楽しみながら星について学びます。天候に応じて秋の星座や土星のリング(環)等の観測や施設見学、天体クイズを予定しています。



講師:塩尻星の会の皆様 総合教育センター専門主事  
NPO ホットライン信州の皆様

## 移動講座のご案内

皆さんのお住まいの地域で講座を開催できる「移動講座」の開催地を毎年募集しています。

講座開催の申請方法:市町村や教育委員会を通じてのお申込みとなります。詳しくは当センターへご相談ください

#### 公民館・社会教育に関する内容

公民館の職員や地域の役員として知っておきたい基礎的な知識を学ぶとともに、意識の高揚とスキルアップを図る講座です。公民館支援専門員が伺います。

#### 地域づくりに関する内容

「地域づくり」を推進する方々が、取り組もうとする課題の解決に向けて実践力を身に着ける研修の開催をサポートします。

#### 子育て支援に関する内容

子育て支援、発達障がいなどについての学習を通して地域の大人ができる家庭支援を考えます。

一般受講が可能な講座は 当センターのホームページや開催講座案内メールで情報を紹介していきます。

随時ご依頼を承っております。お気軽にご相談ください。



## 受講申し込み方法

以下のご都合の良い方法でお申込みください。折り返し確認の連絡をさせていただきます。

開催講座案内メールに登録いただくと講座の詳細が公開された際に案内が届きます。

### ①ながの電子申請サービス

インターネット経由で一度に複数の講座をまとめて申し込みのことのできるサービスです。



### ②センターホームページにアクセス

申込書をダウンロード、ご記入の上メールにて送付ください。



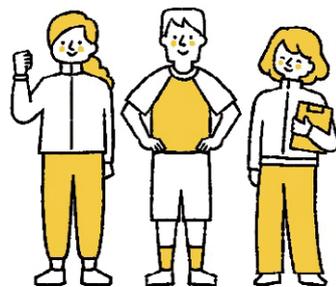
### ③お電話・FAX

長野県生涯学習推進センター  
TEL:0263-53-8822  
※受付時間:  
平日8時30分～17時15分  
FAX:0263-53-8825

メール登録  
申込ページQRコード



# 生涯スポーツのご案内



生涯学習推進センターでは、生涯を通したスポーツ機会の充実に向けた取組を推進しています。それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動の充実に向けて、様々な生涯スポーツに係わる研修講座の開催と、ニュースポーツ用具の貸出し、体育・スポーツ研修会等の支援をしております。

## スポーツの力で地域づくりのお手伝い(研修講座・指導者派遣・用具の貸出)

- 公民館教育に携わる皆様、スポーツ推進委員、地域のスポーツ団体に活躍されている指導者のスキルアップ、指導者育成等に役立ちます。
- 地域の方々の適正や目的等に応じて、家族、仲間、多世代間等の交流を通じ、スポーツ活動を楽しむことのできる実践を体験しながら学ぶことができます。
- 地域住民の皆様が、安全かつ効果的に運動やスポーツに取り組めるよう、スポーツ事故や傷害等に関する専門知識、未然防止にかかわる技術等を学ぶことができます。

### 貸出可能な ニュースポーツ用具

モルック・ポッチャ・ラダーゲッター・ヒットだターゲット・キンボール 他80種類

貸出無料

令和8年度

## 生涯スポーツ講座一覧

どなたでも参加いただけます。  
公民館活動などの地域づくりや  
部活動・地域スポーツ活動に携わる皆様もぜひご参加ください。

受講 要事前 無料 申込 全ての講座の開催時間は9:45~16:10です

6月9日(火) 会場:長野県総合教育センター(塩尻市)

**スポーツ現場における緊急対応**  
～指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法～  
スポーツ現場では不測の事態に備えた危機管理が重要です。目の前で選手が突然倒れた時、すぐに適切な対応ができるでしょうか。本講座では、そうした緊急場面を想定し、応急手当や救急救命法の知識と技術を学び、「いざ」という時に行動できる力を養います。

講師:理学療法士 山本 葵氏  
松本広域消防局広丘消防署職員



8月27日(木) 会場:長野県総合教育センター(塩尻市)

**スポーツへ応用できる古武術的身体操法**  
～様々なスポーツへつながる指導法～

スポーツや日常生活に応用できる古武術的な身体操法を学び、走る、跳ぶ、投げるなど様々な動作に活用できる知識、技能を学ぶ講座です。肩甲骨、仙骨、股関節などの様々な身体の動きについて、体験を通して、その効果を実感してみましよう。

講師:びわこ成蹊スポーツ大学 教授 高橋 佳三氏



11月20日(金) 会場:長野県総合教育センター(塩尻市)

**現場で使える10代アスリートのスポーツ栄養**  
～ベストコンディションの実現～

10代アスリートに対する食事の基礎知識やリカバリー、試合前後の食事の摂り方などを学ぶ講座です。現場へ戻って使える、選手が自らの意志で取り組める実践方法を学びましよう。スポーツ栄養に興味がある方、体づくりに興味がある方にお勧めの講座です。

講師:Eコンディショニング 管理栄養士 村越 智行氏



お問合せ・お申込みは長野県生涯学習推進センター 生涯スポーツ担当までご連絡ください  
電話:0263-51-5402 E-mail: taiikusports@pref.nagano.lg.jp



# センターの活動内容の紹介

## ■研修事業

研修講座では、テーマを踏まえ、県内外で活躍中の講師を厳選して招聘するとともに、先進的な取組みを紹介します。研修講座を通して誰もが様々な人とつながりながら学びあい、その学びを地域の課題解決に向けて活かし、地域づくりに取り組み、人と人との学びのきずなによって地域力を高める社会教育・生涯学習を支援します。

住民が主体となり、公民館活動や NPO の活動・ボランティア活動などを通じて互いに学び合い、支え合いながら学びのきずなで地域力を高め、まちづくり・地域づくりが実践されるための地域の指導者・支援者を育成します。

これからの地域づくりや学校運営に必要な社会教育指導者を育成研修します。

### 地域づくり推進研修

共生社会・子育て支援・SDGs  
教育力向上・地域と学校の連携推進

### 社会教育推進者育成研修

## 研修講座

### 施設開放講座

より多くの県民の皆さんに足を運んでいただき、当センターに対する理解を深めていただく講座です。

### 生涯スポーツ研修

生涯を通じたスポーツ機会の充実に向けた取組を推進する講座です。ニュースポーツの用具の貸出や体育・スポーツ研修会等の支援も無料で行っています。

## ■相談業務

「地域づくりに関する講師を紹介してほしい」「公民館を地域の住民に活用してもらうにはどうすればいいか」など、お気軽にご相談ください。当センターの専門員が、皆様の地域課題解決の支援をさせていただきます。

## ■情報提供業務

過去の研修講座のアーカイブや、研修講座のお知らせなど、メールや動画配信サービスなどを活用した情報提供を行っております。詳しくはホームページを参照ください。

## その他にも様々な形で地域づくりに関わる皆さんの学びを支援しています

受講者から頂いたアンケートの一部を紹介させていただきます

具体的な事例を踏まえながらの講義でイメージしやすく分かりやすかったです。何となくそうなのかなと思っていた部分クリアになって良かった。(一般)

公民館主事となって1年目でまだまだ知識が浅いため、学ぶことができて良かったです。判断に迷うこともあると思いますが、知識をつけて、対応していきたいです。(公民館主事)

自助、共助の大切さに改めて気づきました。(学校教職員)

テーピングやストレッチなどのやり方だけではなく、「なぜ、それをするのか」の根本からの説明だったので、難しい内容でも理解しやすかったです。(学校教職員)

子どものやる気の出し方に関する新しい視点が持てた。長期的な展望を持って子育てをしたい。(一般)

企画は決して業務でやるのではなく、皆で対話しながら行っていくことが重要と改めて感じた。(公民館職員)

自助で出来る事が沢山ある事に気づかされた。(公民館職員)



# センターでは、より深く、実践的に、

## まちづくりに携わる人材の育成や支援を行っています

### 社会から期待される社会教育士 人づくり・つながりづくり・地域づくり

#### 社会教育士とは

地域全体で、地域の抱える課題を解決し続けていくためには、地域の課題に対する当事者意識を持って、より多くの人々や活動が協働しながらこれまでの経験や学んだ成果を活かし、工夫しながら参加できる地域活動や市民活動を豊かにしていくことが求められています。地域を面白くしたい、新たな人ともっと出会いたい、多様な人ともっとつながりながら活動したい、という前向きな気持ちになれるきっかけが、地域にたくさん存在していなければ、大人も子どもも、そして地域も成長していくことはできません。

このきっかけにあたる取組を、人々の自由で自発的な学習活動を支援する社会教育という分野では、「学び」と呼んでいます。こうした「学び」を社会のいたるところにたくさん仕掛け、豊かな地域づくりへの展開を支援する専門人材が、社会教育士です。



社会教育士は、社会教育の制度や仕組み、基礎的な知識に加え、下記の専門性の習得をねらいとした課程や講習を修了した人たちの称号です。

#### 1 ファシリテーション能力

人のやる気に火をつけたり、ものごとを自分事化していくプロセスを支えたりというような、活動への意欲・自発性を引き出しながら意識・行動の変化を促していく「学び」を支援するための基礎的な知識と技能

#### 2 プレゼンテーション能力

地域のヒト、コト、モノや、地域で共有したい想いや願いなどの情報を、より多くの人に、わかりやすく、共感しやすい方法で積極的に伝えていくための基礎的な知識と技能

#### 3 コーディネート能力

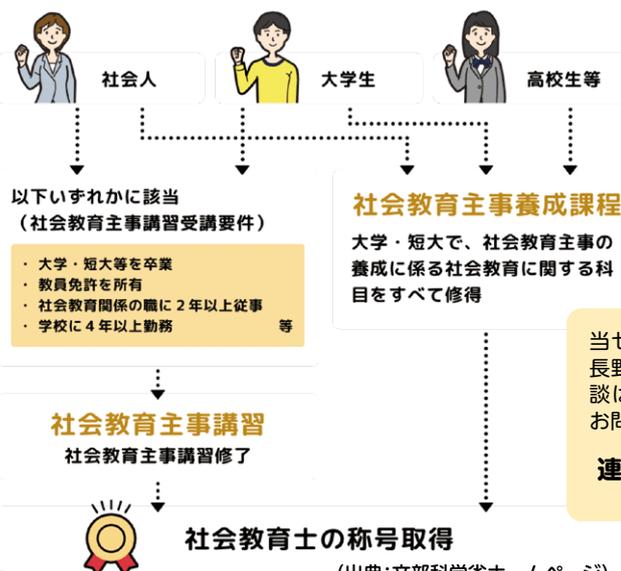
人どうし、活動どうし、組織どうしなど、異なる他者どうしが相互理解を深め、信頼し合い、互いを支え合うことができる関係（協働）へと調整するための基礎的な知識と技能

社会教育士は、このような専門性を活かしながら、地域の思いに寄り添った長期的な地域づくりのビジョンを持ち、地域活動や市民活動が持続的に展開していく支援をします。今後、社会教育士は、社会教育施設や教育委員会事務局だけでなく、地域、社会、世界で解決が目標される多様な課題に取り組む地方公共団体の各部署や、NPO、企業、学校などの他、地域活動やボランティア活動などにおいても、活躍することが期待されています。

#### 社会教育士になるには

社会教育士になるためには、文部科学省から委嘱を受けた実施機関が行う社会教育主事講習を修了する、または養成課程を置く大学で必要単位を修得する方法があります。

#### 社会教育士取得へのステップ



#### 当センターでは社会教育士の学びを支援しています

「社会教育推進者育成研修」をはじめ、当センターでは様々な形で社会教育士への活動支援を行っています。

さらに詳しく学びたい社会教育士の方も、社会教育士称号取得に関心のある方も、ぜひセンターの講座にご参加ください。



#### 社会教育士



当センターでも令和3年度から「社会教育主事講習」を開催しています。令和8年度もセンターでの講習開催を現在調整しております。

当センターでの社会教育主事講習の開催予定や長野県での社会教育士称号取得についてのご相談は長野県教育委員会事務局生涯学習課までお問い合わせください。

連絡先 電話: 026-235-7439  
FAX: 026-235-7493

社会教育士に関するさらに詳しい情報は文部科学省ホームページを参照ください

文部科学省  
ホームページ  
QRコード



## 防災から子どもの居場所まで、今こそ地域の拠点である公民館の出番です

住民が公的施設として自由に集える公民館の存在は、地域づくりに大きく影響し、大切な拠り所として活動の充実が期待されています。

当センターの公民館支援専門員は要望がある市町村の公民館に赴き、職員研修や活動の相談に対応したり、先進的な活動をしている公民館を広く地域づくり実践者に視察していただく講座の企画運営やコーディネート業務などをしたりしています。

長野県は  
公民館発祥の地  
公民館数は**日本一!**



### みなさんの地域づくりをバックアップする「公民館支援講座(移動講座)」をぜひご活用ください

公民館支援専門員が現地に伺いヒアリングをした上で地域課題のご要望に合わせた職員研修やコーディネート業務を行っており、年間を通じてご依頼いただけます。



お申込みやご相談は  
**随時受付中**です!  
当センターにお気軽にご連絡ください

## 公民館支援講座(移動講座)では 様々な内容や目的のご要望に合わせた 講座内容をご提案します

地域や近隣の中高生や  
大学生とつながりたいけど  
どうしたらいい?

公民館講座への参加が  
楽しくなるような  
企画のアイデア出しを  
手伝ってほしい

新しく着任した  
公民館職員に  
公民館について  
話をしてほしい

地域住民に公民館を  
もっと活用してもらうために  
社会教育法第23条について  
教えてほしい

最近活動が活発な  
〇〇町の公民館への  
視察を取り次いでほしい

地区の防災訓練や  
防災運動会  
どんな計画をしたらいいの?

コミュニティスクールの  
県内の先進例を知りたい

下伊那郡町村公民館運営協議会から  
のご依頼を受け、全国公民館連合会  
事務局次長 村上英己氏をお招きし  
「社会教育法第23条の現在地」とい  
う演題で講座を開催いたしました。



### コラム

## 公民館のミライは若者がひらく

全国公民館連合会事務局次長 月刊公民館 編集長 村上 英己 氏

公民館の持続可能性と地域のミライを考えるうえで、若者参画は欠かせない課題です。現状、公民館には「高齢者の施設」というイメージが根強く、ある調査でも20~30代の利用者はわずか4.7%に留まっています。この世代間の断絶は、公民館の存在価値を揺るがす深刻な課題です。この現状を打破するためには、まず「若者は地域に無関心」という我々が抱きがちな先入観そのものを見直す必要があります。

ある調査では、若者の8割は社会貢献意欲があり、7割の若者は地元愛があるというデータもあります。公民館は、この大きな潜在力を十分に生かし切れていないのです。

若者参画を進めるポイントは2つあります。1つは、30歳代以下の参加動機が中心が「自己成長」にあることを踏まえ、社会貢献だけでなく、学びやスキルアップにつながる機会として事業を設計することです。もう1つは、大掛かりな仕組みよりも「感謝の言葉」や「温かな眼差し」といった、誰にでもできる心理的な後押しが、参加への第一歩を踏み出す上で極めて有効だということです。公民館は、若者が他者との関係性の中で「自分は社会の役に立っている」と実感できる「自己有用感」を育む絶好の機会を提供できるのです。これらは若者に成長機会を、公民館に新たな活力を提供する、まさにWin-Winの関係を築くための第一歩です。

「役に立ちたい」という彼らの切実な思いに応え、居場所と出番を創出することは、若者自身の成長を促すと同時に、公民館の活性化、ひいては地域のミライを築くことに直結します。公民館関係者の皆様には、ぜひ「自信を持ってチャレンジしてほしい」と心から期待しています。



#### プロフィール

大学・大学院時代に社会教育を学び、公民館に興味を持つ。大学生時代には5年間、公民館の臨時職員として、土日・夜間アルバイトを経験。2001年から、全国公民館連合会に入り、現在に至る。  
職場では、主に雑誌「月刊公民館」の取材編集、全国公民館の実態調査研究、各種コンクール、全国公民館研究会のプロデュース、オンライン研修会、また全国各地の研修会講師などもおこなっている。

# センター開催講座ライブラリーのご案内

## サステナブルな社会への移行は地域での実践から ～学校授業や公民館講座などにおけるポイントとヒント～

講師:自然エネルギーネットまつもと  
代表 平島 安人氏 他

信州の環境変化を知り、学校授業、公民館講座の実施に役立つ情報を共有する機会にします。

## 地域共生社会に向けた学びと福祉の地域づくり ～学びとつながりをベースに地域連携を考える～

講師:松本大学総合経営学部 教授 尻無浜 博幸氏 他

社会教育と地域福祉が連携した地域づくり、公民館と社会福祉協議会の連携による学びとつながりをベースとした地域づくりについて考えます。

## 地域学校協働活動を核とした地域づくり ～本を通して地域をつくり、未来を担う子どもを育む!～

講師:文部科学省CSマイスター 猿渡 智衛氏 他

本と関わる楽しさを味わう取組が、人をつなぎ地域づくりにつながっている県内外の事例から学びます。

## 障がいの有無に関わらず共に学び、楽しむ日常を ～アダプテッド・スポーツの考え方をを通して～

講師:東海大学体育学部体育学科 教授 内田 匡輔氏

障がいがあっても必要な支援のもとにみんなに関わり合う楽しさと公民館活動や学校の体育祭等における具体的な取組につながるヒントを学びます。

## 人がつながる地域のデザイン

講師:デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長  
NPO法人プラス・アーツ 理事長 永田 宏和氏

クリエイティブ思考による社会課題解決の事例から、企画立案に必要な要素やプロセス、また、それを社会に広げるために必要なことを学びます。

## 公民館と学校の連携による

### 人材の育成と期待される役割

～地域でつながりあい、自治の土壌を耕すために～

講師:大正大学地域創生学部 地域創生学科  
教授 牧野 篤氏

学校教育と社会教育がどう連携し、地域づくりをどう進め、自治の土壌をどう耕していくか、また学校とコミュニティの関係づくりについて学びます。

## 地域社会を変えるには？

～公民館や学校でも参考となる全国の事例に学ぶ～

講師:日本女子大学 人間社会学部 教育学科  
准教授 荻野 亮吾氏

地域自治の取組が停滞していく中で、地域の課題にどのように向き合っていくのか、具体的な方法について事例を通して学びます。

## 公民館的な手法で進めるまちづくり、地域づくり ～県内の具体的な地域づくり実践から学ぶ～

講師:松本大学総合経営学部 教授 白戸 洋氏

信州の公民館が住民や地域団体と具体的にどのように信頼関係を結び、どう連携し、何を支援してきたのかを学び、地域づくりの本質に迫ります。

## 地域の子ども・若者たちにおける 社会教育のあり方を考える

講師:文教大学人間科学部 准教授 青山 鉄兵氏

子どもや若者が地域で育つための重要な社会教育の基本概念を理解し、学校や地域で実践する方法を参加者同士で考えます。

視聴可能な過去3年間の開催講座は  
当センターホームページでも  
ご確認いただけます

ライブラリー視聴のお申込みは  
ながの電子申請サービスが便利です



## 長野県生涯学習推進センター

〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢6342-4

TEL:0263-53-8822 / FAX:0263-53-8825

Email:shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shogaigakushu/>

休業日:国民の祝日、土・日曜日、12月29日～翌月1月3日まで



センターへの交通案内

●JR利用:JR塩尻駅から車で約20分・JR広丘駅から車で約10分

●高速道利用:長野ICから塩尻北IC経由約60分・飯田ICから塩尻IC経由約70分